

Press Release

聴竹居

Cho
chiku
kyo

藤井厚二の
木造モダニズム建築

The Wooden Modernism
of KOJI FUJII



1. 聴竹居外観

2018年 5月12日 | 土 | - 7月16日 | 月・祝 |

竹中大工道具館

関連記事掲載・番組等でのご紹介のお願い

このたび竹中大工道具館では、2018年5月12日から7月16日まで、企画展「聴竹居―藤井厚二の木造モダニズム建築―」を開催いたします。

日本を代表する木造モダニズム建築の傑作「聴竹居」。設計者の藤井厚二は建築環境工学を学問として確立した先駆者で、研究のために5つの自邸を建設しました。自ら居住して実証・改善を加え、5回目に建てた自邸が「聴竹居」です。そこには室内環境をコントロールするための様々な工夫が見られると同時に、伝統的な和室にモダンデザインを融合させた先進的な室内空間が広がっています。藤井が追及した真に日本の気候風土にふさわしい住宅群は、“環境の世紀”21世紀の今、我々に様々な示唆を与えてくれることでしょう。2018年は藤井厚二の生誕130年、没後80年、そして聴竹居建設90年目に当たります。その節目の年に、藤井厚二の「日本の住宅」への想いを紹介する展覧会を開催します。

つきましては、是非貴媒体にて本展覧会をご紹介いただきますようお願い申し上げます。

なお、広報用に提供写真をご用意いたしております。読者・視聴者プレゼントにつきましても画像借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の画像借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ>

「聴竹居―藤井厚二の木造モダニズム建築―」展広報事務局（竹中大工道具館内）

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713 E-mail：chochikukyo@dougukan.jp

展覧会概要

名 称	聴竹居－藤井厚二の木造モダニズム建築－
会 期	2018年5月12日（土）～7月16日（月・祝）
会 場	竹中大工道具館 1F ホール 〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1 TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713
開 館 時 間	9:30～16:30（入館は16:00まで）
入 館 料	一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上の方200円 ※常設展観覧料含む
主 催	竹中大工道具館
共 催	竹中工務店、聴竹居倶楽部
後 援	大山崎町
お問い合わせ	「聴竹居－藤井厚二の木造モダニズム建築－」展広報事務局
公 式 サ イ ト	https://www.dougukan.jp/special_exhibition/chochikukyo

◆展覧会の見どころ <展示品総数約60点>

- ・藤井厚二が竹中工務店在籍時に描いた彩色図面、欧米視察時の写真など、新発見の資料を紹介します。なお藤井が勤めていた頃の竹中工務店は現在の竹中大工道具館の敷地にありました。この地で描かれた図面が、約100年後に同じ場所で展示される事となります。
- ・聴竹居の藤井厚二直筆図面の他、これまで知られていなかった新発見の直筆スケッチを展示します。聴竹居のデザインを練り上げる過程の一端を見ることが出来ます。
- ・聴竹居の縁側を原寸大の写真で再現します。室内環境をコントロールするための工夫と、それをデザインの中に組み込む設計手腕を体感してください。
- ・会場での展示、および聴竹居・八木邸の現地見学会を通して、藤井作品を継承するための活動を紹介します。

◆藤井厚二（ふじいこうじ）プロフィール

1888年（明治21）	広島県福山市に生まれる
1913年（大正2）	東京帝国大学を卒業後、竹中工務店入社
1919年（大正8）	竹中工務店退社
1920年（大正9）	欧米を視察後、京都帝国大学工学部講師
1921年（大正10）	同助教授
1926年（大正15）	同教授
1938年（昭和13）	逝去



2. 藤井厚二

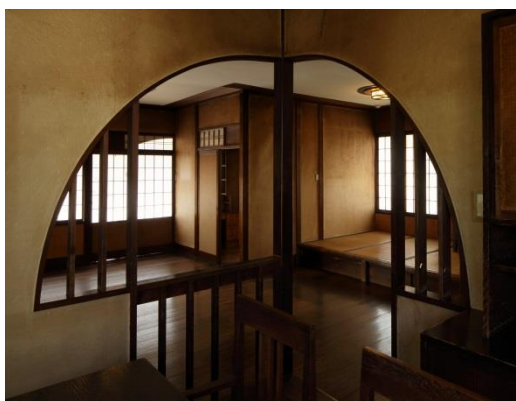
1 聴竹居設計まで

ーデザイナーとしての藤井厚二ー

藤井厚二は1888年（明治21年）に現在の広島県福山市に生まれます。1913年（大正2年）に東京帝国大学建築学科を卒業し、同年10月に竹中工務店に入社しました。ここでは中学校時代の絵画や東大の卒業設計、竹中工務店時代の彩色図面など、デザイナー藤井厚二の足跡を示す資料を展示します。

ー環境工学者としての藤井厚二ー

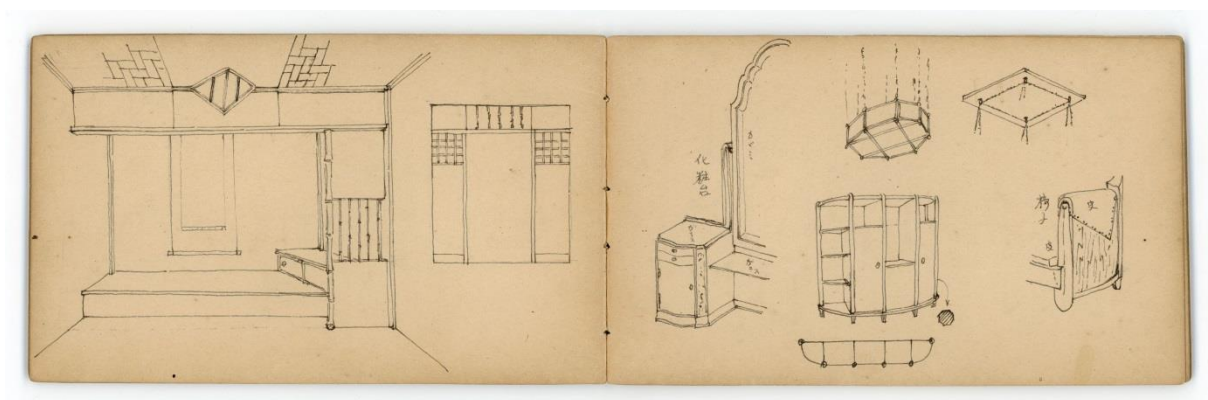
1919年（大正8年）竹中を退社した藤井厚二は、9ヶ月間の欧米視察を行います。帰国後の1920年（大正9年）に京都帝国大学講師となり、併せて京都府山崎に自邸を建てて、ここで住宅の温熱環境に関する研究を開始します。その成果は1928年（昭和3年）に『日本の住宅』として刊行されました。ここでは欧米視察時の写真やノート、『日本の住宅』の原稿などを展示します。



3. 聴竹居食事室から居室を見る



4. 聴竹居客室



5. スケッチブック

2 聴竹居

—あるべき住宅の具体案—

『日本の住宅』で示した設計方針を具現化したのが1928年（昭和3年）建設の自邸・聴竹居です。藤井直筆のスケッチや図面、模型などで建物の概要を伝えると共に、その間取や構造に秘められた建築上の工夫をパネルで解説します。また聴竹居の縁側を実物大の写真で再現します。

—生活のデザイン—

藤井は建築だけでなく、家具や食器も含めた生活全体をデザインしていました。それら家具や照明器具、藤井が自宅の窯で焼いた焼物などを展示します。

3 八木邸 —香里園の注文住宅—

昭和5年（1930）に大阪府寝屋川市に建てられた八木邸は現存する数少ない藤井作品で、建設当時の状態を非常に良く残しています。建設に携わった大工・酒徳金之助による図面の他、写真、模型、復元CGなどで八木邸の魅力を紹介します。



6. 聴竹居縁側



7. 屋根妻面に設けられた通風窓



8. 壁面内に通気筒の機能をもつ調理室

◆関連イベント

1 「技と心」セミナー[87] 「藤井厚二の想いを未来へつなぐ」

日本の近代住宅を代表する傑作「聴竹居」「八木邸」の魅力と、その保存活用に尽力した方々の活動を紹介し、優れた建築を未来に残す意義を考えます。

日 時 2018年5月13日(日) 14:00~16:00
講 師 松隈章(竹中工務店設計本部)、加嶋章博(摂南大学理工学部教授)
場 所 神戸芸術センター会議室
定 員 80名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費 無料
申込締切 4月21日(土)

2 聴竹居見学会

京都府大山崎町の天王山麓に創建時と変わらぬ姿で建つ、藤井厚二の自邸・聴竹居を見学します。

日 時 2018年5月19日(土)、26日(土)、6月30日(土)、7月7日(土)
各日とも[1]10:00~11:00、[2]11:00~12:00、[3]13:00~14:00、[4]14:00~15:00
講 師 松隈章、聴竹居倶楽部
定 員 各回10名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費 1,000円
申込締切 [1][2]4月27日(金)、[3][4]6月8日(金)

3 八木邸見学会

寝屋川市香里園に建てられた、藤井厚二が自邸・聴竹居で試みた様々な工夫を適用した作品である注文住宅・八木邸を見学します。

日 時 2018年6月9日(土)、16日(土)
各日とも[1]10:00~11:30、[2]13:00~14:30、[3]15:00~16:30
講 師 松隈章、八木邸倶楽部
定 員 各回10名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費 1,000円
申込締切 5月18日(金)

【申込方法】

ウェブメールまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

■ウェブメール

公式サイト(https://www.dougukan.jp/special_exhibition/chochikukyo)内よりお申し込みください。

■はがき

〔往信用裏面〕①イベント名(ご希望時間も) ②参加者氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所
④電話番号 ⑤年齢

〔返信用表面〕宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
裏面は未記入のこと。

〔申込み先〕〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。



◆当館のご案内

日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

<アクセス>

山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩
約3分

市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約
3分

シティ・ LOOP 「12 新神戸駅前(2F)」下車
徒歩約3分

神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」
下車徒歩約2分





聴竹居

藤井厚二の木造モダニズム建築

広報用画像借用申込書

FAX 送信番号 078-241-4713

竹中大工道具館 広報事務局行



- ◆画像データ (JPEG) をご提供いたします。下記記入欄にご記入のうえ F A X またはメールにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ◆読者プレゼントとして当館招待券ペア (2枚) 5組を提供することができます。
- ◆その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

媒体名		
掲載予定日		
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
画像名 (番号に✓)	<input type="checkbox"/> 1	聴竹居外観©古川泰造
	<input type="checkbox"/> 2	藤井厚二
	<input type="checkbox"/> 3	聴竹居食事室から居室を見る©古川泰造
	<input type="checkbox"/> 4	聴竹居客室©古川泰造
	<input type="checkbox"/> 5	スケッチブック
	<input type="checkbox"/> 6	聴竹居縁側©古川泰造
	<input type="checkbox"/> 7	屋根妻面に設けられた通風窓©古川泰造
	<input type="checkbox"/> 8	壁面内に通気筒の機能をもつ調理室©古川泰造
読者プレゼント (招待券)	<input type="checkbox"/> 希望する	or <input type="checkbox"/> 希望しない

- ▶画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なされないください。
- ▶掲載記事・番組内容について情報確認のためにグラ刷り、原稿の段階で下記事務局まで FAX 送信ください。
- ▶お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに 1 部ご寄贈願います。

■ お問い合わせ先

「聴竹居—藤井厚二の木造モダニズム建築—」展広報事務局 (竹中大工道具館内)
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713
E-mail: chochikukyo@douguan.jp